

### ゼラチン・シルバー・プリント Gelatin Silver Print

1880年代中期～現在

19世紀末に発明され、現在でも使われている白黒写真の印画紙の総称。ゼラチンに臭化銀などの光に感じる物質を混ぜ、紙に塗って乾かしますが、普通は工場で製造されています。この印画紙はとて光に感じやすいので、暗室で感光させたあと現像液に入れて現像します。この印画紙の出現によって小さいネガからの引き伸ばしが簡単になりました。

### 発色現像方式印画 Chromogenic Print

1940年代～現在

カラー・ネガからカラー印画をつくる方式の総称で、これまではコダック社の商品名である「タイプCプリント」と通称されていたものです。発色剤(カブラー)を含んだ感光材料を三層にした印画紙で、現像をする過程で発色させてカラーの画像をつくるものです。

### 拡散転写方式印画 Diffusion Transfer Process

1950年代～現在

エドウィン・ランド(米)が、1947年に発明した「インスタント写真」の方式の総称。この原理にもとづき、現在はアメリカの「ポラロイド」、富士フィルムの「フォトラマ」などの製品があります。

### 銀色素漂白方式印画 Silver Dye Breach Print

1960年代～現在

カラー・ポジから直接にカラー印画をつくる方式の総称で、これまでは、1963年にスイスのチバガイギー社が開発した商品名である「チバクローム・プリント」と通称されていました。色素をあらかじめ含んでいる三つの感光乳剤層をもつ印画紙で、補色にあたる部分を漂白してカラーの画像をつくります。光が全くあたらなかった余白は黒くなってしまいます。

TOPコレクション 東京・TOKYO

じっくり見てみるガイドブック

会期:2016年11月22日(火)―2017年1月29日(日)

東京都写真美術館 3階展示室

執筆:武内厚子(東京都写真美術館・学芸員)

## 東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

2016年11月発行

東京都写真美術館

〒153-0002 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

# TOPコレクション

# 東京・TOKYO

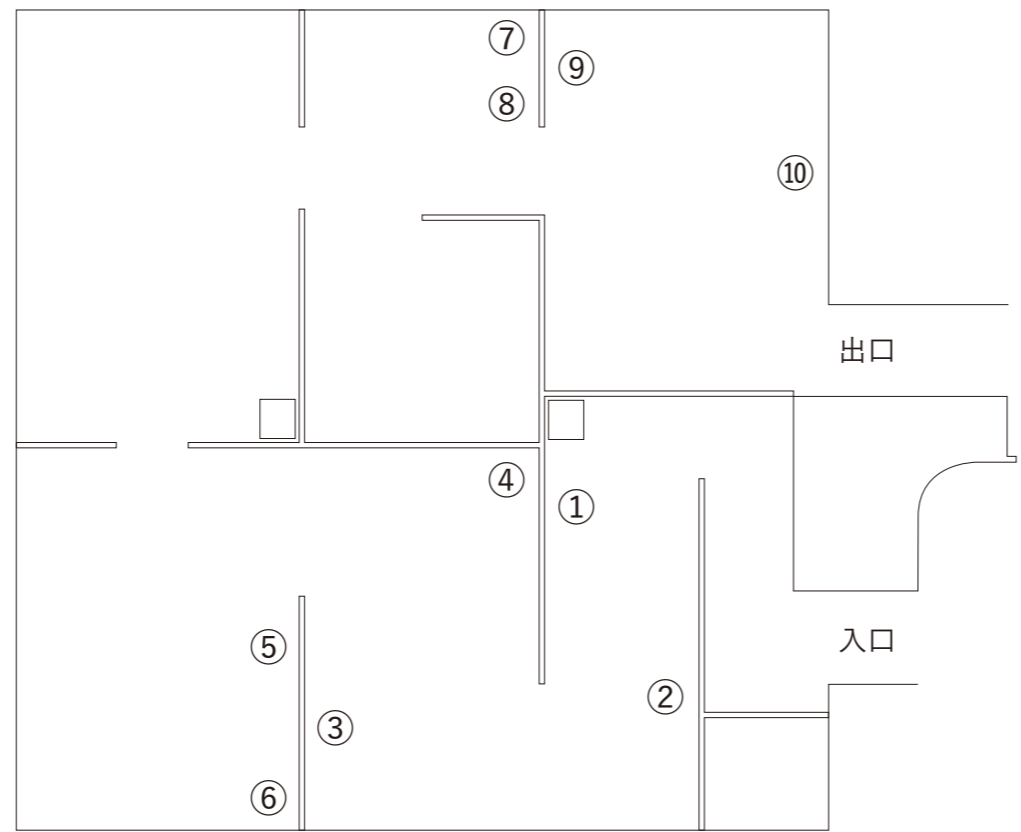
# TOP MUSEUM

20 YEAR ANNIVERSARY TOP COLLECTION:  
TOKYO TOKYO AND TOKYO

## じっくり見てみるガイドブック

2016年11月22日(火)―2017年1月29日(日) 東京都写真美術館 3階展示室

この展覧会に展示している作品は、すべて東京がテーマとなっています。  
 一番古い作品で70年前のもの、いちばん最近の作品は5年前のものです。  
 写真家たちはそれぞれの視点から、東京のさまざまな場所をカメラにおさめています。  
 一枚一枚の写真をじっくりよく見ると、いろいろなものやことが見えてきて、画面のなかには写っていないそのまわりの出来事を想像したり、見つけたり、自分自身では無意識のうちに、意外なことに気づいていることがわかるでしょう。  
 さあ、じっくり、じーっと、下から横からいろいろな方向から、作品を見てみましょう。



鬼海 弘雄《履物屋》(王たちの肖像) 1985年  
 ゼラチン・シルバー・プリント

① 浅草で出会った履物屋さん。  
 どんな物を身につけているのか、じっくり見てみましょう。  
 身につけた物の特徴から履物屋さんの性格や好みを想像できそうです。  
 写真家・鬼海さんの構えたカメラの前に立っている履物屋さんは、どんな表情をしているのでしょうか？  
 履物屋さんの表情から、そのときの気分や、カメラマン鬼海さんとの関係が見えてきます。  
 あなたのまわりに、この人に似た感じの人はいますか？



② エスカレーターに乗る人たち。  
 どんな人たちがエスカレーターに乗っていますか？  
 どんな場所にあるエスカレーターなのかを想像することができます。  
 みんなと反対向きに乗っている人たちが2人。どうして反対を向いて乗っているのでしょうか？  
 2人をじっくり見ると、2人は何をしていた、何を考えているのかわかるかもしれません。  
 手前の3人は、それぞれどこを見ているのでしょうか？  
 作品には写っていない、エスカレーターのまわりや外のようなものを考えることができます。  
 高梨 豊 (東京人1964-65)より 1964-65年  
 ゼラチン・シルバー・プリント



あらかきのぶよし  
荒木 経惟〈写真論〉より 1988-89年  
ゼラチン・シルバー・プリント

③ 夜の広場。でも、何かが変です。

彫刻がいくつも飾られています。じっくり見てみましょう、  
どんな彫刻がありますか？

どんな広場をイメージしてつくられた場所なのかを想像することができます。

ここはどんな場所でしょうか？

公園なのか道なのか、にぎやかな場所なのかさびしい場所なのか、きれいな場所なのか散らかった場所なのか、この写真をよく見ていくと、この広場の役割や、人々との広場の関係が見えるかもしれません。

この写真のなかで、変だな、不思議だな、気になるなと思うところはどこですか？

荒木さんも街の中で何か気になるところがあったから、写真を撮ったのでしょう。



はやし たかのぶ  
林 隆喜《多摩動物公園、東京都》(ZOO)より 1986年  
ゼラチン・シルバー・プリント

④ 動物園。いろいろな動物がいます。

どんな動物が写っていますか？動物たちの共通点や  
違うところを考えてみましょう。

動物の種類を見ていくと、動物園が動物たちについてどう考えているかがわかるかもしれません。

動物がいる場所はどんなところでしょうか？

手前の柵や木、地面の傾斜のようす、奥の小屋などじっくりみると動物たちの生態や、どんな配慮がされているのがわかってきます。

動物たちはそれぞれ何をしていますでしょう？

動物たちの様子や行動は天気、季節、時間、などが関係してきます。作品にはっきりとは写らないこれらのことを読み解ききっかけになります。



せと まさと  
瀬戸 正人《左から:サリニーさん(22)、ナバーボンさん(38)、アッさん(30)、ラリカーさん(36)、バンコク出身》(Living Room Tokyo 1989-1994)より 1989-94年  
ゼラチン・シルバー・プリント

⑤ 海外からやってきた、日本で暮らす人たち。

部屋の中にはたくさんの物が置いてあります。じっくり見てどんな物があるかよく見てみましょう。

日本のものと、暮らす人の母国のものがどのように混在しているのかが見えてきます。

日本で快適に暮らせるように、さまざまな工夫や、独特な使い方をしているようです。どんな工夫や変わったところが見つかりましたか？

暮らす人の知恵と個性が見えてきます。

住んでいる人達の表情やポーズからどのような気持ちでいるのか、考えてみましょう。

暮らす人と写真家がどのような関係性を作っているのかが見えてくるでしょう。



あきかい ようこ  
朝海 陽子《ホームアローン、東京》(Sight)より 2007年  
発色現像方式印画

⑥ こどもだけの時間。

こどもたちがいるのはどんな部屋で、部屋のなかには何がありますか？

どんな部屋かをみていくと、この部屋でふだんどう過ごしているのかわかってきます。

4人のこどもたちをじっくり見てみてください。4人は何をしています、どんなようすでしょうか。

動きやふるまいから、4人のいまの気持ちがわかるかもしれません。

季節や、外の天気、時間など、どんなことがわかりますか？

作品にはっきりとは写らない、まわりの環境がわかるかもしれません。



にしひの そろへい  
西野 社平《Diorama Map Tokyo》(Diorama Map)より 2004年  
発色現像方式印画

⑦ 全体と部分ではちがうものが見えてきます。

まずは全体を見て下さい。なにが見つかりましたか？

様々な場所や、街の機能の配置が見えてきて、どんな街なのかわかってきます。

近づいて細かい部分をひとつひとつじっくり見て下さい。あなたの知っているものや場所などはありましたか？

全体を見ると、比率が他とは異なってわざと大きくしてあったり、いびつな部分が見つかります。どこの部分がそうなっていますか？

写真家・西野さんがなぜそうしたのかわかるかもしれません。



はやし  
林 ナツミ《Today's Levitation 02/21/2011》2011年  
発色現像方式印画

⑨ 浮かんでいる生活の日記。

写真に写っている場所はどんな場所でしょうか？

女の子は何をしようとしているのでしょうか？

どういう存在として女の子を見せようとしているのかが見えてくるかもしれません。

まわりの人たちは何をされていて、どんな表情をしていますか？

まわりの人のようすから、女の子が浮かんでいる時の雰囲気や想像し、その場所で撮影した理由がわかってくるかもしれません。



⑧ ぼんやりした写真。

はっきり見えるものはありますか？また、時間はいつ頃なのか、お天気がどうなのかなど、気づくことがありますか？

どんな場所を写した写真なのでしょうか。写っている色や形などをヒントに気づくことはありますか？

水滴をよく見てみましょう。何が、どんなふうに見えていますか？

写真家・畠山さんがなぜこうして写真を撮ったのかわかるヒントがあります。

はたけやま なおや  
畠山 直哉《Slow Glass / Tokyo #66》2006年  
発色現像方式印画



ほんじょう なおき  
本城 直季《東京 日本 2004》(small planet)より 2004年  
発色現像方式印画

⑩ 新幹線の通る風景。

すみずみまで見てみましょう。なにが写っていますか？

写真家・本城さんがこの場所を選んだ理由があるかもしれません。

この写真の中の不思議な所を探してみましょう。

この写真を撮影していたときには新幹線が大きな音を立てていたことでしょうか。そう思いながらも一度この風景を見てみましょう。気づいたことはありますか？

どんな環境の中でこの作品が撮られたのかわかるヒントがあります。